せんごくの里ニュース
ふなで
2011年6月　第2号
〒597-0042　貝塚市王子1183-3
TEL. 072-437-1075
FAX. 072-437-1076
発行者：岡田　透

2011年春

新しい仲間を迎えて

新年度、4班体制に編成
新たな気持ちでスタート

「せんごくの里」所長　岡田　透

皆様の日頃からのあたたかいご支援、ご協力にこころより感謝申し上げます。

昨年の9月に開所いたしまして、はや半年が経ちました。4月から支援学校の卒業生等で6名の利用者が増えて通所されています。

利用者の班編成を行い、「いきいき班、わくわく班、はつらつ班、白いくも班」と4班に分かれて、様々な取り組みを行っていきたいと思いますのでご支援よろしくお願いします。

ところで、3月11日の東北地方で起こった地震による大津波、一瞬にして家々が押し流され、多くの人の生命が奪われました。また、原発事故による放射能の恐怖が日本中を駆け巡っており、胸が締めつけられる思いで一杯です。当施設でも、全職員と家族に義援金を募り、全国社会福祉協議会を通じてお渡しいたしました。

東日本大震災で被災された方々にお見舞いを申し上げます。そして一日も早い復興と皆さんの笑顔が戻ることを願います。

気に入った居場所見つけたように いきいき通う姿を見て

家族会 会長　岸本 節子

せんごくの里に通い出し、自分の気に入った居場所を見つけた様にいきいきしていました。作業もハサミを使うことは大好きなので、集中して出来ていたようです。

残念なことに昨年に体調を崩し、それ以降休憩しながら、体調に合わせ行っている様です。その間、本人の意思添って暖かく見守って戴きました。

現在は、体調も安定しているのですが、自分の気分で行動しているところもあるのではないかと思います。

新入生、新規の職員の方々も増え、新しい生活が始まりました。

4月6日、行われた花見会のゲーム、食事と家族も参加し、楽しく過ごさせて戴きました。職員の方々のご尽力に心から感謝します。

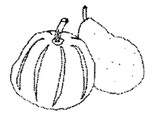
誕生会＊自治会が主催

5月20日、自治会が中心となって、誕生会が催されました。
今回の対象者は5月生まれの3名。楽しいひとときを過ごしました。

笑顔で楽しんで食べられる 食事をめざして

栄養士　小山みちる

献立を作るときに一番大切にしていること、それは皆さんが笑顔でおいしく、楽しんで食べられる食事かということです。栄養バランスはもちろんですが、見た目や献立のネーミングにもこだわり、食材や調理法などバリエーション豊富にすることで毎日新しい発見をして楽しんでもらえたらと思います。中には「何でっかこれ?」ご当地メニューも多々登場しますが、家に帰った後の話題になれば嬉しいです。



温かいものはあたたかく 昼食時は憩い、午後の活力源に

調理員　川瀬直美

新しい仲間が加わり食数は40を超え、配慮食も増えました。きざみ食、一口大、牛乳アレルギー、一口おにぎり、等々。また食堂が狭い為、最後の人は約40分遅れの食事となりますので、炒め物は前半と後半に分けて作り、オーブンでの焼き物は3回に分けて、揚げ物は食堂に入る人を見てからアツアツを出します。食事が皆さんの、憩いの時間であり昼からの活力源になると信じ、少しでも喜んで頂けるけるよう工夫しています。

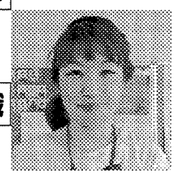
新職員紹介

看護師　金原　恵美

4月から看護師として働かせて頂くことになりました。通所のみなさん、スタッフに、一日も早く受け入れて頂けるように努力しますので、よろしくお願いします。

支援員　南條　祐介

新しく入りました、職員の南條です。せんごくの里の仲間と楽しく過ごせる様にこれから頑張っていきたいと思いますのでよろしくおねがいします。



支援員　永松　享子

4月から入りました永松享子です。皆さんとお仕事を頑張ったり楽しいことを一緒にしていきたいと思っています。毎日笑顔で頑張ります。よろしくお願いします。

支援員　秋田　正美

3月から新しく入った秋田です。これから頑張って行きたいと思います。

支援員　野村　早代子

5月から「白いくも」で働くことになりました。まだまだ戸惑うことばかりですがこれからもよろしくお願いします。

支援員　清水　久子

元気な仲間と一緒に楽しく仕事をしていきたいと思います。

支援員　藤原　美智

こんにちわ。藤原です。せんごくの仲間達といきいきと、わくわくしながら、はつらつと働いて行きたいと思います。

春のお花見会

せんごくの里の、はじめてのお花見会。
快晴の空の下、満開の桜をバックに記念撮影です。
当日は、ボール運びなど身体を動かすゲームにも、ご家族にご参加いただき、とても楽しいひとときを過ごすことができました。また、来年をお楽しみに！

はつらつ班

力合わせて、仕事に、余暇に がんばるぞ！

新年度から４班に再編

4月より、せんごくの里（生活介護事業）に新しいグループの「はつらつ班」ができました。担当職員は大林寛、南條裕介の２名、利用者は４名です。よろしくお願いします。

はつらつ班では、各利用者の個別課題に応じてきめ細かい取り組みをおこない、館内、野外での取り組みをしています。取り組みとして５月、こいのぼりのちぎり絵制作を毎日がんばっているところです。制作中にいろいろなハプニングもありますが、楽しくわきあいあいと活動をすすめていますのでメンバーの作品を期待していてください。

いきいき班

４月から、新メンバーで出発です。担当職員も3名に増え、葉書作りを中心に、アクリル毛糸の食器洗い、お箸袋など、新商品作りに試行錯誤の毎日です。女性メンバーが増え、以前より華やかな雰囲気の中で作業に取り組んでいます。毎週金曜日の午後は、一週間ご苦労様のティータイムを設けています。一息ついたあとは、癒しの音楽を流しながらみんなで体操。毎日の作業の終わりには、一人一人の作業の振り返りをし「頑張ったね。たくさんできたね。」と明日への作業意欲につないでいます。作業は楽しく、間違ってもめげない、あきらめない、何とかなる。そんな、グループ目指し、力を合わせ「ファイト！」です。

白いくも

「いらっしゃいませ〜」元気な声が響きます。

かふぇでは、「お客様に気持ちよく過ごしていただけるように」「お待たせしないように」と気持ちを集中します。慌てすぎてお盆に乗せずにお水を運んでしまったり、レジの打ち損ないもあったかな・・・？

▲連日売り切れの「白いくも製パン」の製造職人スタッフ

卵不使用の白いくも食パンは「ふんわり〜、もっちり〜、生で食べてもおいし〜」と評判が良く、たくさんの予約をいただき、担当の職員と利用者のFさんは毎日粉まみれで頑張っています。

新しい小型パンの試作と試食を繰り返し、今ではオープン当時からするとびっくりするほどの商品が店頭に並んでいます。また貝塚市の福祉センターのロビーで、パンといきいき班の紙すき製品などを、7月から毎週水曜日に販売できることにもなりました。

「白いくも」を利用してしてくださる方や担当者の声を運営に活かして、ますます発展していきたいとおもいます。

わくわく班

わくわく班は、１５名の方（内３名は土曜日のみ利用）と職員４名で頑張っています。

作業内容はナプキン折り、タオルの袋詰め（ホテル用の歯ブラシとタオルのセット）、箱折り、商工新聞折り（週１回）、ケーブルカバーの袋詰め（不定期）を行っています。皆さん「頑張って働いてお給料をもらう！」とやる気を持って頑張っておられます。

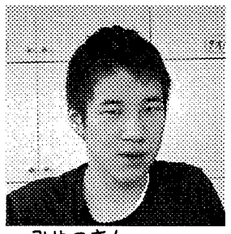
また今年度より１週間毎に週案を作成し、貼り出すことで先の予定をわかりやすくするようにしました。コーヒータイムも新しく実施することになり、作業だけでなく楽しい時間も全員で共有できるようにしていきたいと思います。

▲体操もみんなで楽しく取り組みます

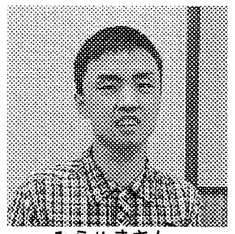
音楽サークルも生まれ余暇活動も充実！

ようこそ！新しい仲間

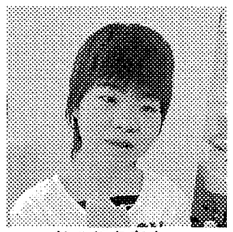
支援学校の卒業生６名が、新しく「せんごくの里」を利用されることになりました。若い新しいパワーが、少しだけ先輩の利用者のみなさんにとっても大いに刺激になったようで、生活に新たな活気が生まれています。



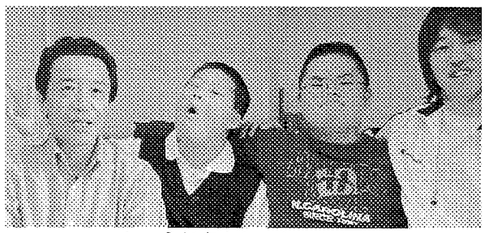
みやのさん



ひらぬまさん



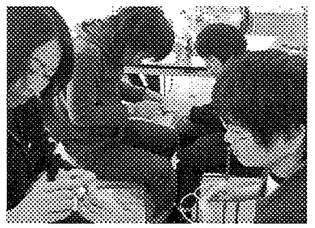
おくがきさん



しょうじさん↑　↑なかおかさん

あさのさん

ラブリーせんごく



さてさて、おしゃれ好きな女性のみなさん恒例の〝ラブリーせんごく〟です！
新年度がスタートし、新しい方も増えてますます賑やかな「せんごくの里」。初めて〝ラブリーせんごく〟の様子を見て「楽しそう！私もおしゃれしたいな〜」と女性の素敵な思いが聞こえました。カレンダーに予定を書き込んで、当日を楽しみにする姿はとってもうれしそうです。きれいな色のヘアピンやマニキュアをならべて、これからもおしゃれに磨きをかけていきます。